

23 



2026年2月期（2025年度）
上期
決算説明資料

2025年10月2日
ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

MISSION STATEMENT

オンワードグループのミッションステートメント

ホ シ

ヒトと地球に 潤いと彩りを

「社員の多様な個性をいかしたお客さま中心の経営」により

地球と共生する「潤いと彩り」のある生活づくりに貢献する

『生活文化創造企業』

として前に進み続ける



01	連結実績・連結業績予想ハイライト	P4
02	2025年度 上期 連結実績	P9
03	2025年度 通期 連結業績予想	P13
04	Topics	P16
05	財務状況	P20
06	Sustainability	P25
07	Appendix	P30



UNF/LO
アンフィーロ

01

連結実績・連結業績予想
ハイライト

売上高

2Q

525 億円

前年同期比 +20.0%
+88億円

営業利益

4 億円

前年同期比 +111.6%
+2億円

当期純利益

6 億円

前年同期比 +519.1%
+5億円

EBITDA

17 億円

前年同期比 +19.9%
+3億円

売上高

上期

1,126 億円

前年同期比 +18.4%
+175億円

営業利益

57 億円

前年同期比 +9.2%
+5億円

当期純利益

48 億円

前年同期比 +17.4%
+7億円

EBITDA

84 億円

前年同期比 +9.3%
+7億円

- 2Q期間の売上高は、長期化する夏季に対応した機能性商品の販売好調等により、前年同期比で20.0%の増収となった。その結果、上期の売上高は、18.4%増収の1,126億円となった。『アンフィーロ』（+46.8%増収）、『KASHIYAMA』（+27.2%増収）、『チャコット・コスメティクス』（+34.8%増収）等の戦略強化ブランドを中心に、商品ラインナップの強化や新規出店の加速等が寄与した。昨年の秋に連結子会社化したウィゴー社も、マーケティング精度の向上等により大幅増収に貢献した。
- 上期の営業利益は9.2%増益の57億円となった。在庫管理の徹底等により、粗利益率は0.1%改善したが、社員の賃金アップ等の人的資本投資の強化や、DX関連投資の推進等により、販管費率が0.5%上昇した。
- 上期の当期純利益は、17.4%増益の48億円で着地した。政策保有株式の縮減等に伴う特別利益を計上した一方で、事業構造改革等が一段落したことから、特別損失が縮小した。EBITDAは9.3%増の84億円となった。
- 以上の結果、増収および全段階利益での増益を達成した。

23区

上期増収率（前年同期比） **+0.6%**

トレンド性の高い意匠性トップスや
長い夏対応商材の展開強化により
増収。

23区



UNFILO

上期増収率（前年同期比） **+46.8%**

東レ共同開発BREEZEMOVEや
水際服等、新規開発商品が売上を
牽引。

UNFILO
アンフィロ



KASHIYAMA

上期増収率（前年同期比） **+27.2%**

デジタル広告強化により客数増。
新規開発商品「コンフォートスーツ」
が好調。

KASHIYAMA



WEGO

上期増収額 **+164^{※1}億円**（前年同期比 **+7.1%^{※2}**）

※1 前年3Qより連結化の為、前年上期実績なし

※2 連結前のウイゴグループ決算数値と当社連結後決算数値の単純比較

店舗特性を捉えたマーケティングの強化に
より最大商戦の夏休み
期間中の売上が拡大。

WEGO
YOUR FAN



CHACOTT COSMETICS

上期増収率（前年同期比） **+34.8%**

定番ラustingベースや季節限
定品「クールシリーズ」が好調に
推移。

Chacott
COSMETICS



大和

上期増収率（前年同期比） **+14.1%**

注力している法人ビジネスと
大型案件の受注が伸長。

P PRESENTERS ROOM



売上高

下期

1,174 億円

前年同期比 +3.6%
+41億円

営業利益

58 億円

前年同期比 +17.7%
+9億円

当期純利益

52 億円

前年同期比 +17.5%
+8億円

EBITDA

86 億円

前年同期比 +10.7%
+8億円

売上高

通期

2,300 億円

前期比 +10.4%
+216億円

営業利益

115 億円

前期比 +13.3%
+13億円

当期純利益

100 億円

前期比 +17.4%
+15億円

EBITDA

170 億円

前期比 +10.0%
+15億円

- 上期の実績は当初計画を上回ったが、内外の経営環境が引き続き不透明な状況であること等を踏まえて、通期の業績予想は維持する。
- 下期においても、経営環境の激変に対応した柔軟な事業運営を継続するとともに、販管費の効率化を一層徹底する。下期の売上高は前年同期比で3.6%増収の1,174億円、営業利益は17.7%増益の58億円、当期純利益は17.5%増益の52億円、EBITDAは10.7%増の86億円を予想する。
- 通期の売上高は、前期比で10.4%増収の2,300億円、営業利益は13.3%増益の115億円、当期純利益は17.4%増益の100億円、EBITDAは10.0%増の170億円を予想する。「2026年度に当期純利益100億円以上」との中期経営計画の目標を、1年前倒しで達成する見通し。

■ 中間配当の実施

- 株主への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置づけ、配当性向の目安を通期で40%以上とし、安定的で業績に連動した適正な利益配分を行う方針。
- 今期から新たに実施する中間配当については、期初予想通り1株当たり14円とし、期末に16円、通期合計で30円の配当予想も維持する（前年度から4円の増配、配当性向は 40.7%）。

■ 自己株式の消却

- 2025年10月16日に、自己株式1,600万株（発行済株式総数の10.1%）を消却する予定。なお、2025年8月末現在における自己株式数は、2,192万株（同 13.9%）。

■ 成長投資の継続

- 2024年度および2025年度上期において、ウィゴー社の完全子会社化、DX関連投資や新規出店投資の実行、大連工場の設備拡充等、成長のための戦略投資を実行。
- 2025年度下期以降も、国内および海外において、成長のための戦略投資を積極的に継続する方針。
- 特にアメリカにおいては、123年の歴史をもつトラッドブランドであるJ.PRESS事業の飛躍的な拡大を目指して、2030年度に向けた戦略投資計画を積極的に推進する予定（別掲資料を参照）。



02

2025年度 上期
連結実績

2025年度 上期 連結実績

- 上期の売上高は、18.4%増収の1,126億円となった。『アンフィーロ』（+46.8%増収）、『KASHIYAMA』（+27.2%増収）、『チャコット・コスメティクス』（+34.8%増収）等の戦略強化ブランドを中心に、商品ラインナップの強化や新規出店の加速等が寄与した。昨年の秋に連結子会社化したウィゴー社も、マーケティング精度の向上やEC事業の好調等により大幅増収に貢献した。
- 上期の営業利益は9.2%増益の57億円となった。在庫管理の徹底等により、粗利益率は0.1%改善したが、社員の賃金アップ等の人的資本投資の強化や、DX関連投資の推進等により、販管費率が0.5%上昇した。
- 上期の当期純利益は、17.4%増益の48億円で着地した。政策保有株式の縮減等に伴う特別利益を計上した一方で、事業構造改革等が一段落したことから、特別損失が縮小した。EBITDAは9.3%増の84億円となった。

(百万円)	上期実績			対2024年度		対公表値	
	2025年度	2024年度	公表値	増減額	増減率	増減額	増減率
1 売上高	112,636	95,102	110,400	+17,534	+18.4%	+2,236	+2.0%
2 売上総利益	62,508	52,709	61,700	+9,799	+18.6%	+808	+1.3%
(対売上高比率)	(55.5%)	(55.4%)	(55.9%)		(+0.1%)		(△ 0.4%)
3 販管費	56,772	47,454	56,000	+9,318	+19.6%	+772	+1.4%
(対売上高比率)	(50.4%)	(49.9%)	(50.7%)		(+0.5%)		(△ 0.3%)
4 営業利益	5,736	5,255	5,700	+481	+9.2%	+36	+0.6%
(対売上高比率)	(5.1%)	(5.5%)	(5.2%)		(△ 0.4%)		(△ 0.1%)
5 経常利益	5,521	5,213	5,500	+308	+5.9%	+21	+0.4%
(対売上高比率)	(4.9%)	(5.5%)	(5.0%)		(△ 0.6%)		(△ 0.1%)
6 当期純利益	4,822	4,108	4,500	+714	+17.4%	+322	+7.2%
(対売上高比率)	(4.3%)	(4.3%)	(4.1%)		(+0.0%)		(+0.2%)
7 EBITDA [※]	8,408	7,690	8,500	+718	+9.3%	△ 92	△ 1.1%
(対売上高比率)	(7.5%)	(8.1%)	(7.7%)		(△ 0.6%)		(△ 0.2%)

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費等

2025年度 上期 主要事業会社別実績

		(百万円)	上期実績			対2024年度		対公表値	
			2025年度	2024年度	公表値	増減額	増減率	増減額	増減率
1	オンワード樫山+HD	売上高	54,724	54,722	55,000	+2	+0.0%	△ 276	△ 0.5%
		営業利益	2,516	2,938	3,000	△ 422	△ 14.4%	△ 484	△ 16.1%
2	ウィゴー	売上高	16,364	-	12,800	-	-	+3,564	+27.8%
	(2024年10月より連結)	営業利益	1,202	-	450	-	-	+752	+167.1%
3	オンワード パーソナルスタイル	売上高	3,834	3,051	3,630	+783	+25.7%	+204	+5.6%
		営業利益	21	△ 38	10	+59	↗	+11	+110.0%
4	オンワード コーポレートデザイン	売上高	9,004	8,952	9,100	+52	+0.6%	△ 96	△ 1.1%
		営業利益	908	990	1,000	△ 82	△ 8.3%	△ 92	△ 9.2%
5	チャコット	売上高	5,754	5,358	5,800	+396	+7.4%	△ 46	△ 0.8%
		営業利益	749	645	660	+104	+16.1%	+89	+13.5%
6	クリエイティブヨーコ	売上高	3,199	3,140	3,420	+59	+1.9%	△ 221	△ 6.5%
		営業利益	204	303	320	△ 99	△ 32.7%	△ 116	△ 36.3%
7	大和	売上高	11,531	10,108	11,810	+1,423	+14.1%	△ 279	△ 2.4%
		営業利益	973	795	1,160	+178	+22.4%	△ 187	△ 16.1%
8	国内グループ会社小計 (オンワード樫山+HD除く)	売上高	54,760	35,959	52,140	+18,801	+52.3%	+2,620	+5.0%
		営業利益	4,136	3,159	4,030	+977	+30.9%	+106	+2.6%
9	ヨーロッパ計	売上高	5,996	6,116	6,200	△ 120	△ 2.0%	△ 204	△ 3.3%
		営業利益	△ 211	△ 259	△ 240	+48	↗	+29	↗
10	アメリカ計	売上高	728	1,153	740	△ 425	△ 36.9%	△ 12	△ 1.6%
		営業利益	△ 41	△ 175	△ 50	+134	↗	+9	↗
11	アジア計	売上高	3,222	3,613	3,750	△ 391	△ 10.8%	△ 528	△ 14.1%
		営業利益	161	120	130	+41	+34.2%	+31	+23.8%
12	海外グループ会社小計	売上高	9,946	10,882	10,690	△ 936	△ 8.6%	△ 744	△ 7.0%
		営業利益	△ 91	△ 314	△ 160	+223	↗	+69	↗
13	連結合計	売上高	112,636	95,102	110,400	+17,534	+18.4%	+2,236	+2.0%
		営業利益	5,736	5,255	5,700	+481	+9.2%	+36	+0.6%

※グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

2025年度 上期 販路別売上高

(百万円)		①オンワード樫山				②国内EC対象事業会社8社※				合計 (①+②)			
		2025年度	2024年度	増減額	増減率	2025年度	2024年度	増減額	増減率	2025年度	2024年度	増減額	増減率
1	百貨店	18,793	20,029	△1,236	△ 6.2%	6,102	5,524	+578	+10.5%	24,895	25,553	△658	△ 2.6%
	構成比	34.3%	36.6%		△ 2.3%	13.8%	21.7%		△ 7.9%	25.2%	31.9%		△ 6.7%
2	SC他	19,850	19,019	+831	+4.4%	26,746	12,009	+14,737	+122.7%	46,596	31,028	+15,568	+50.2%
	構成比	36.3%	34.8%		+1.5%	60.6%	47.2%		+13.4%	47.1%	38.7%		+8.4%
3	リアル販路計	38,643	39,048	△405	△ 1.0%	32,848	17,533	+15,315	+87.3%	71,491	56,581	+14,910	+26.4%
	構成比	70.6%	71.4%		△ 0.7%	74.4%	68.9%		+5.5%	72.3%	70.6%		+1.7%
4	自社EC	13,556	13,492	+64	+0.5%	8,025	6,688	+1,337	+20.0%	21,581	20,180	+1,401	+6.9%
	構成比	24.8%	24.7%		+0.1%	18.2%	26.3%		△ 8.1%	21.8%	25.2%		△ 3.3%
5	自社EC比率	84.3%	86.1%		△ 1.8%	71.0%	84.5%		△ 13.5%	78.8%	85.5%		△ 6.7%
6	他社EC	2,525	2,182	+343	+15.7%	3,282	1,231	+2,051	+166.6%	5,807	3,413	+2,394	+70.1%
	構成比	4.6%	4.0%		+0.6%	7.4%	4.8%		+2.6%	5.9%	4.3%		+1.6%
7	EC計	16,081	15,674	+407	+2.6%	11,307	7,919	+3,388	+42.8%	27,388	23,593	+3,795	+16.1%
	構成比	29.4%	28.6%		+0.7%	25.6%	31.1%		△ 5.5%	27.7%	29.4%		△ 1.7%
8	売上高計	54,724	54,722	+2	+0.0%	44,155	25,452	+18,703	+73.5%	98,879	80,174	+18,705	+23.3%

※Eコマースを運営している以下の国内事業会社8社

アイランド、ティアクラス、オンワードパーソナルスタイル、チャコット、クリエイティブヨーコ、大和、KOKOBUY、ウィゴー



03

2025年度 通期
連結業績予想

選べるを贈る、メニューギフト。

 Menu Gift

2025年度 通期 連結業績予想

- 上期の実績は当初計画を上回ったが、内外の経営環境が引き続き不透明な状況であること等を踏まえて、通期の業績予想は維持する。
- 下期においても、経営環境の激変に対応した柔軟な事業運営を継続するとともに、販管費の効率化を一層徹底する。下期の売上高は前年同期比で3.6%増収の1,174億円、営業利益は17.7%増益の58億円、当期純利益は17.5%増益の52億円、EBITDAは10.7%増の86億円を予想する。
- 通期の売上高は、前期比で10.4%増収の2,300億円、営業利益は13.3%増益の115億円、当期純利益は17.4%増益の100億円、EBITDAは10.0%増の170億円を予想する。「2026年度に当期純利益100億円以上」との中期経営計画の目標を、1年前倒しで達成する見通し。

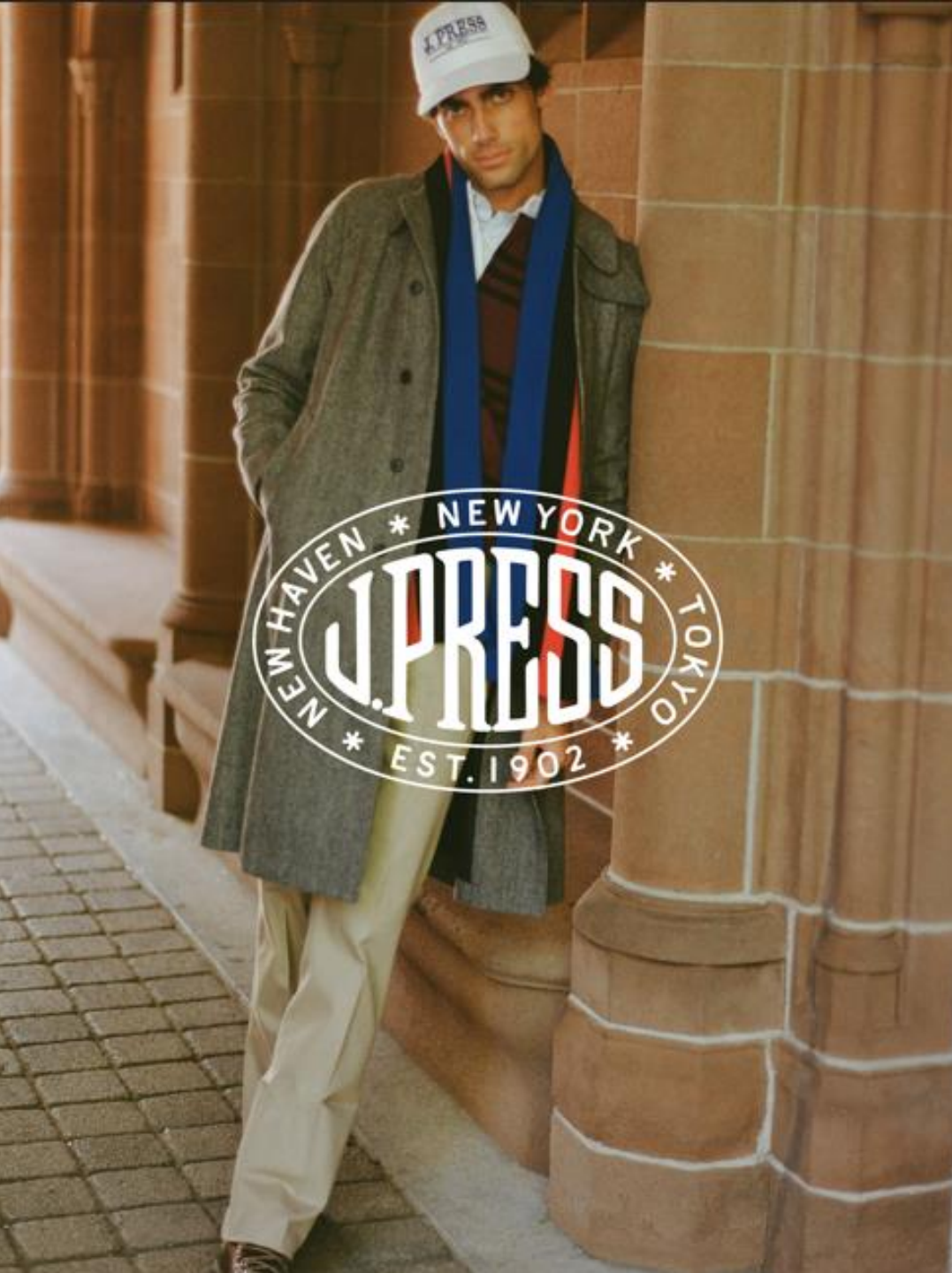
	(百万円)	通期予想			対2024年度		対公表値	
		2025年度	2024年度	公表値	増減額	増減率	増減額	増減率
1	売上高	230,000	208,393	230,000	+21,607	+10.4%	+0	+0.0%
2	売上総利益	126,000	113,575	126,000	+12,425	+10.9%	+0	+0.0%
	(対売上高比率)	(54.8%)	(54.5%)	(54.8%)		(+0.3%)		(+0.0%)
3	販管費	114,500	103,422	114,500	+11,078	+10.7%	+0	+0.0%
	(対売上高比率)	(49.8%)	(49.6%)	(49.8%)		(+0.2%)		(+0.0%)
4	営業利益	11,500	10,153	11,500	+1,347	+13.3%	+0	+0.0%
	(対売上高比率)	(5.0%)	(4.9%)	(5.0%)		(+0.1%)		(+0.0%)
5	経常利益	11,000	10,084	11,000	+916	+9.1%	+0	+0.0%
	(対売上高比率)	(4.8%)	(4.8%)	(4.8%)		(△ 0.0%)		(+0.0%)
6	当期純利益	10,000	8,516	10,000	+1,484	+17.4%	+0	+0.0%
	(対売上高比率)	(4.3%)	(4.1%)	(4.3%)		(+0.2%)		(+0.0%)
7	EBITDA※	17,000	15,452	17,000	+1,548	+10.0%	+0	+0.0%
	(対売上高比率)	(7.4%)	(7.4%)	(7.4%)		(△ 0.0%)		(+0.0%)

※ EBITDA = 営業利益+減価償却費等

2025年度 通期 主要事業会社別予想

			通期予想			
(百万円)			2025年度	2024年度	増減額	増減率
1	オンワード樫山+HD	売上高	115,000	113,613	+1,387	+1.2%
		営業利益	7,200	7,190	+10	+0.1%
2	ウィゴー (2024年10月より連結)	売上高	31,300	12,828	+18,472	+144.0%
		営業利益	1,400	123	+1,277	+1038.2%
3	オンワード パーソナルスタイル	売上高	7,550	6,215	+1,335	+21.5%
		営業利益	140	18	+122	+677.8%
4	オンワード コーポレートデザイン	売上高	18,600	18,452	+148	+0.8%
		営業利益	1,750	1,726	+24	+1.4%
5	チャコット	売上高	11,000	10,169	+831	+8.2%
		営業利益	860	845	+15	+1.8%
6	クリエイティブヨーコ	売上高	7,250	6,798	+452	+6.6%
		営業利益	830	821	+9	+1.1%
7	大和	売上高	23,400	20,832	+2,568	+12.3%
		営業利益	1,440	1,234	+206	+16.7%
8	国内グループ会社小計 (オンワード樫山+HD除く)	売上高	109,880	86,123	+23,757	+27.6%
		営業利益	6,920	5,431	+1,489	+27.4%
9	ヨーロッパ計	売上高	13,500	12,407	+1,093	+8.8%
		営業利益	300	173	+127	+73.4%
10	アメリカ計	売上高	1,900	2,374	△ 474	△ 20.0%
		営業利益	△ 60	△ 379	+319	↗
11	アジア計	売上高	7,200	7,047	+153	+2.2%
		営業利益	140	91	+49	+53.8%
12	海外グループ会社小計	売上高	22,600	21,828	+772	+3.5%
		営業利益	380	△ 115	+495	↗
13	連結合計	売上高	230,000	208,393	+21,607	+10.4%
		営業利益	11,500	10,153	+1,347	+13.3%

※グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む



04

Topics

23区 (オンワード樫山)

新業態「SALON 23区」を展開

『23区』の新レーベル「GOLD LABEL」を含むフルラインナップと、国内外からセレクトしたバイイングアイテムを展開し、単なる洋服販売の場ではなく、上質な空間、厳選された品揃え、そして心地よいサービスを通じてブランドの世界観を五感で体感できる体験型フラッグシップストア。

2025年9月3日に第一弾として阪急うめだ本店内にオープン。来春には東京・青山に路面店の開設を予定。



KASHIYAMA (オンワードパーソナルスタイル)

大連 第2工場稼働

『KASHIYAMA』は、生産基盤の拡大のため、2025年8月から大連工場を2工場体制にし、併せて工員も増員した。

これにより、1日あたりの生産量が増加し、繁忙期でも納期の安定化を図る。

今後は更にシステム改修を進め、スマートファクトリーの進化を追求する。



WEGO (ウィゴー)

新しい成長軌道へ

2024年10月の連結化以降、商品や人的資本、EC・マーケティングへの積極的な投資効果により業績が大きく伸長。

下期は、コラボ販促施策による閑散期対策と、ライブコマース等の中国拡大策で、更なる成長を目指す。



PRESENTERS ROOM (大和)

新ビジネスモデルの確立

“選べる”を贈る、ギフトの専門店『PRESENTERS ROOM (プレゼンターズルーム)』を展開。
贈る人とその先の贈られる人、どちらにとっても特別な体験をお届けする、世界でも珍しいギフト専門店。
2025年9月1日 オンラインストアオープン。
2025年9月12日 ニュウマン高輪店オープン。



■ クリック&トライ

■ 導入店舗数・予約点数の推移

	2025年度上期	2024年度上期	増減
導入店舗数	428	407	+21
導入率	66.7%	63.2%	+3.5%
利用客数（名）	68,587	65,090	+5.4%
予約点数（点）	141,910	131,296	+8.1%
売上客数（名）	28,693	27,565	+4.1%
売上点数（点）	65,186	59,129	+10.2%
売上（百万円）	1,227	1,088	+12.8%

■ 導入店舗・未導入店舗の売上高（前期比）

	2025年度上期	2024年度上期
導入店舗	103%	114%
未導入店舗	97%	96%
差	+6%	+18%

「クリック&トライ」サービスとは

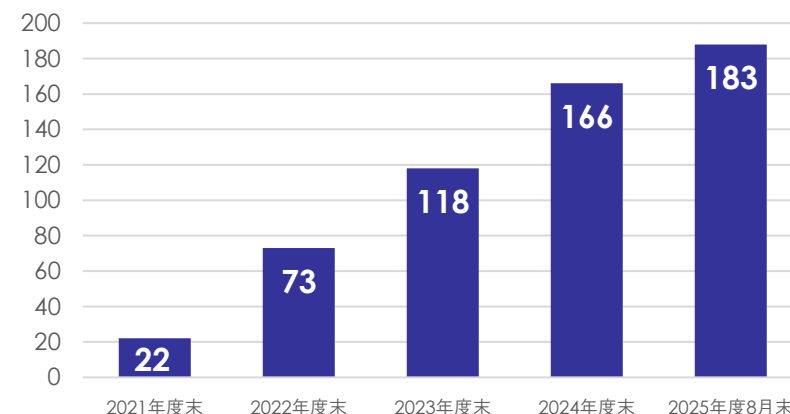
「ONWARD CROSSET」の商品を実店舗でご試着いただけるお取り寄せサービスです。

全国のサービス対象店舗からご近隣の店舗をお選びいただき、オンラインストアで気になるアイテムを着てみて、納得してお買い物を楽しんでいただけます。

普段取り扱いのないブランドを取り寄せたり、サイズ・色欠品にも対応でき、コーディネート幅が広がって、客単価のUPにつながっています。

■ オンワード・クローゼットセレクト (OCS)

■ OCS店舗数の推移



■ OCS売上高（前期比）

※アウトレット・路面店を除く

	2025年度上期
オンワード・クローゼットセレクト（OCS）	109%
OCS除く店舗	92%
差	+17%

オンワード・クローゼットセレクト（OCS）とは

ブランドの垣根を越えて様々な商品を取り揃えており、幅広い品揃えのなかでお買い物をお楽しみいただけるブランド複合型店舗です。

ご愛用いただいたオンワード製品を店頭にてお引き取りし、リサイクル・リユースに活用する「オンワード・グリーンキャンペーン」を毎日実施（一部店舗を除く）。「クリック&トライ」サービスはOCS全店舗で導入しています。

点在していたオンワードショップを、一か所にまとめることにより、店舗効率（人頭効率・坪効率）が格段に上がります。



KASHIYAMA

オーダーメイドのカシヤマ。

05

財務状況

2025年度 上期 当期純利益影響項目

(百万円)		2025年度 上期	2024年度 上期	増減率
1	営業利益	5,736	5,255	+9.2%
2	営業外収益	325	306	+6.2%
3	受取利息・配当金	156	172	△ 9.3%
4	持分法による投資利益	-	65	-
5	その他	168	68	+147.1%
6	営業外費用	539	349	+54.4%
7	支払利息	256	173	+48.0%
8	持分法による投資損失	66	-	-
9	為替差損	84	8	+950.0%
10	その他	131	166	△ 21.1%
11	営業外損益計	△214	△42	-
12	経常利益	5,521	5,213	+5.9%
13	特別利益	1,708	1,767	△ 3.3%
14	固定資産売却益	-	902	-
15	投資有価証券売却益	1,708	865	+97.5%
16	特別損失	730	1,700	△ 57.1%
17	減損損失	714	243	+193.8%
18	関係会社整理損	-	1,445	-
19	その他	15	10	+50.0%
20	特別損益	978	67	+1359.7%
21	税前提利益	6,500	5,280	+23.1%
22	法人税等	1,677	1,110	+51.1%
23	少数株主損益	-	61	-
24	当期純利益	4,822	4,108	+17.4%

- 営業外損益は、為替差損の計上や金利上昇に伴う支払利息の増加等により、2億円の悪化。
- 経常利益は前年同期比+5.9%増の55億円となった。
- 特別損益は、2Qでの政策保有株式の縮減による特別利益17億円の計上等により、前年同期から約9億円増加。
- 以上の結果、当期純利益は前年同期比17.4%増の48億円となった。

2025年度 上期 連結貸借対照表

	(億円)	2025年度 上期	2024年度 期末	前期末比±
1	資産合計	1,790	1,792	△ 2
2	流動資産	847	801	+46
3	現金及び預金	103	135	△ 32
4	売掛金	165	159	+6
5	棚卸資産	496	458	+38
6	固定資産	942	991	△ 49
7	有形固定資産	475	476	△ 1
8	無形固定資産	122	128	△ 6
9	投資その他の資産	344	385	△ 41
10	負債合計	953	949	+4
11	買掛金	217	197	+20
12	借入金	466	485	△ 19
13	その他	269	267	+2
14	純資産合計	836	842	△ 6
15	自己資本比率	46.7%	47.0%	△ 0.3%
16	流動比率	127.8%	127.7%	+0.1%

■ 棚卸資産

オンワード樫山・ウィゴーの仕入強化等による増加。

■ 買掛金

支払いサイトの短縮化による一時的な増加。

■ 投資その他の資産

政策保有株式の縮減に伴う投資有価証券の減少。

■ 借入金

返済による減少。

- EBITDAは、前年同期比9.3%増加の84億円。
- 純資産は、非支配株主持分の減少等により、前期末より0.7%減少（△6億円）の837億円。
- 自己資本比率は、前期末より0.3%減少の46.7%。
- 流動比率は、前期末より0.1%上昇の127.8%。

EBITDA

(百万円)			
2025年度 上期	2024年度 上期	増減	増減率
8,408	7,690	+718	+9.3%

自己資本比率

2025年度 上期末	2024年度 期末	増減
46.7%	47.0%	△ 0.3%

純資産

(百万円)			
2025年度 上期末	2024年度 期末	増減	増減率
83,658	84,287	△ 629	△ 0.7%

流動比率

2025年度 上期末	2024年度 期末	増減
127.8%	127.7%	+0.1%

■ キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前利益および棚卸資産の増加等により40億円の収入。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得等により12億円の支出。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の減少および配当金の支払い等の結果、59億円の支出。

■ 設備投資

- 設備投資額は、前期より1億増加の29億円。
- DX関連や出店関連など投資を厳選し、効率的に実施。

(百万円)			
2025年度 上期	2024年度 上期	増減	増減率
2,883	2,761	+122	+4.4%

■ 減価償却費

- 減価償却費は、前期から1億円増加の21億円。

(百万円)			
2025年度 上期	2024年度 上期	増減	増減率
2,145	2,007	+138	+6.9%



躍れ、表情。
Chacott
COSMETICS

06

Sustainability

【キャリアオーナーシップ経営AWARD2025優秀賞を受賞】

https://www.onward-hd.co.jp/release/2025/20250516_1.html 2025年5月 オンワードホールディングス

当社は、2019年より、制度整備と組織風土の醸成を両輪とし、業務効率化とワーク・ライフ・バランスの実現により生産性をあげることを目的とした「働き方デザイン」プロジェクトを実施。平均勤続年数の大幅な向上や、男性育休取得率の上昇・取得日数の増加に加え、女性執行役員の登用につながった等の社員の自律的成長を支える取り組みが高い評価を得て、「キャリアオーナーシップ経営AWARD2025」の優秀賞を受賞した。



■「キャリアオーナーシップ経営 AWARD」とは

「キャリアオーナーシップ経営 AWARD」は、個人と組織の持続的な成長を実現するため、キャリアオーナーシップ経営の3つの視点（キャリアオーナーシップ人材を「可視化する（見える）」、「増やす」、「（経営や事業と）つなぐ」）を実践し、「個人と企業の新しい関係づくり」を推進する企業を表彰するものです。2025年度は、従業員1,000名以上の企業を「大企業の部」、1,000名未満の企業を「中堅・中小企業の部」として審査され、33社・団体が選出されました。

キャリアオーナーシップ経営AWARD 2025 特設ページ：
<https://co-consortium.persol-career.co.jp/com-award/>

【ワークショップ交流会とバレエ公演鑑賞へ

夢を追いかける小中学生14名を招待】

https://www.onward-hd.co.jp/release/2025/20250702_2.html 2025年7月 オンワードホールディングス / チャコット

バレエへの情熱にあふれる小中学生14名を第2回「バレエみらいシート」に招待した。新国立劇場バレエ研修所のアクティング・ディレクター本島美和さんから、台詞のないバレエだからこそ重要な“表現の大切さ”を学ぶワークショップ交流会を開催した後、新国立劇場バレエ団『不思議の国のアリス』公演を鑑賞。また、公演の幕間（休憩時間）には、本島さんとの交流会も実施した。



【北陸支援プロジェクト「北陸×オンワード ～想いを、手間に～」】

https://www.onward-hd.co.jp/release/2025/20250422_2.html

2025年4月 オンワード樺山

北陸のメーカーが手がけた素材を使用した当社の対象商品の売上の一部が「令和6年能登半島地震災害義援金」として日本赤十字社を通じて寄付され、被災地の暮らしの再建や復興支援に役立てられる「北陸×オンワード ～想いを、手間に～」プロジェクトを2025年4月22日～8月31日実施。J.PRESS MEN'S、GOTAIRIKU、JOSEPH ABBOUD、JOSEPH HOMME、23区GOLFのメンズ5ブランドで、計50アイテムが対象。



■対象商品に付帯する特別タグ



■プロジェクト対象商品に今回素材を使用している北陸メーカー（五十音順）

<石川県> 小松マテリア株式会社、株式会社サックスコーポレーション、株式会社ハクサンケミカル、丸井織物株式会社、株式会社YOSHITA TEX
 <福井県> 株式会社カツクラ、有限会社熊工房、サカイオーベックス株式会社、株式会社ダナックス、トヨシマセイ株式会社、広燃株式会社、
 福井経編興業株式会社、株式会社ミツヤ

【 飛行機の廃シートカバーを再活用したパッチワーククッションを販売 】

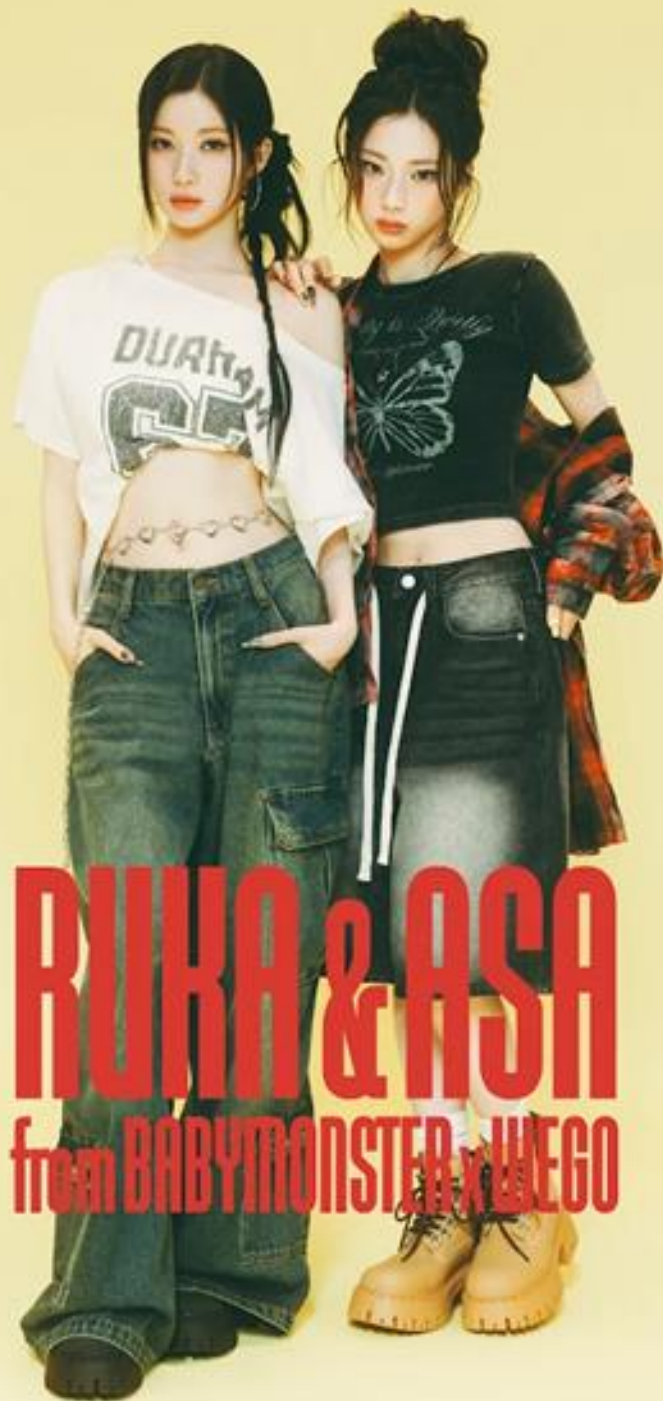
<https://www.onward-hd.co.jp/release/2025/20250804.html> 2025年8月 オンワードコーポレートデザイン

株式会社オンワードコーポレートデザインは、ANAホールディングス株式会社との共同アップサイクルの取り組みとして、廃棄対象のシートカバーから「ANA特製パッチワーククッション」を製作。

2022年、廃棄対象のシートカバーで製作したルームシューズが大好評となり、そのルームシューズの製作過程で残った「端切れ」を再活用したパッチワーククッションを、第2弾として販売した。これにより、廃棄対象となるシートカバー1枚の中から、約85%をルームシューズやパッチワーククッションにアップサイクルして製品化することを実現した。



商品名：ANA特製パッチワーククッション
販売サイト：ANA Mall内ANAワクワクショップ（※現在は販売終了）
価格：1個15,000円（税込）※送料込
サイズ：約34x34cm



07

Appendix

					ウィゴー社除く	
(百万円)		2025年度上期	2024年度上期	増減率	2025年度上期	増減率
1	人件費	21,364	18,378	+16.2%	18,655	+1.5%
2	賃借料	15,409	12,719	+21.1%	12,548	△ 1.3%
3	運賃運搬費	3,803	3,149	+20.8%	3,439	+9.2%
4	広告宣伝費	4,104	3,258	+26.0%	3,558	+9.2%
5	減価償却費	1,760	1,606	+9.6%	1,604	△ 0.1%
6	その他	10,332	8,344	+23.8%	9,193	+10.2%
7	販管費計	56,772	47,454	+19.6%	48,997	+3.3%

【増減要因】

- 人件費 …… 賃金アップ等の人的資本投資強化による増加
- 賃借料 …… 流通経路の構成比の変化や店舗運営効率の改善による減少
- 運賃運搬費 …… EC売上、カタログギフト販売の増加等に伴う配送料の増加
- 広告宣伝費 …… プロモーション施策やデジタル広告施策など積極投資による増加

2025年度 セグメント別実績・予想

		(百万円)	上期実績				下期予想				通期予想			
			2025年度	2024年度	増減額	増減率	2025年度	2024年度	増減額	増減率	2025年度	2024年度	増減額	増減率
オンワード樫山 + HD	1	売上高	54,724	54,722	+2	+0.0%	60,276	58,891	+1,385	+2.4%	115,000	113,613	+1,387	+1.2%
	2	売上総利益 (対売上高比率)	32,160 (58.8%)	31,898 (58.3%)	+262 (+0.5%)	+0.8%	33,990 (56.4%)	33,413 (56.7%)	+577 (+0.3%)	+1.7%	66,150 (57.5%)	65,311 (57.5%)	+839 (+0.0%)	+1.3%
	3	販管費 (対売上高比率)	29,644 (54.2%)	28,960 (52.9%)	+684 (+1.3%)	+2.4%	29,306 (48.6%)	29,161 (49.5%)	+145 (+0.9%)	+0.5%	58,950 (51.3%)	58,121 (51.2%)	+829 (+0.1%)	+1.4%
	4	営業利益 (対売上高比率)	2,516 (4.6%)	2,938 (5.4%)	△ 422 (△ 0.8%)	△ 14.4%	4,684 (7.8%)	4,252 (7.2%)	+432 (+0.6%)	+10.2%	7,200 (6.3%)	7,190 (6.3%)	+10 (+0.0%)	+0.1%
(オンワード樫山 + HD 除く)	5	売上高	54,760	35,959	+18,801	+52.3%	55,120	50,164	+4,956	+9.9%	109,880	86,123	+23,757	+27.6%
	6	売上総利益 (対売上高比率)	28,074 (51.3%)	18,051 (50.2%)	+10,023 (+1.1%)	+55.5%	26,626 (48.3%)	24,337 (48.5%)	+2,289 (+0.2%)	+9.4%	54,700 (49.8%)	42,388 (49.2%)	+12,312 (+0.6%)	+29.0%
	7	販管費 (対売上高比率)	23,938 (43.7%)	14,892 (41.4%)	+9,046 (+2.3%)	+60.7%	23,942 (43.4%)	22,065 (44.0%)	+1,877 (+0.6%)	+8.5%	47,880 (43.6%)	36,957 (42.9%)	+10,923 (+0.7%)	+29.6%
	8	営業利益 (対売上高比率)	4,136 (7.6%)	3,159 (8.8%)	+977 (△ 1.2%)	+30.9%	2,684 (4.9%)	2,272 (4.5%)	+412 (+0.4%)	+18.1%	6,820 (6.2%)	5,431 (6.3%)	+1,389 (△ 0.1%)	+25.6%
海外グループ会社小計	9	売上高	9,946	10,882	△ 936	△ 8.6%	12,654	10,946	+1,708	+15.6%	22,600	21,828	+772	+3.5%
	10	売上総利益 (対売上高比率)	4,442 (44.7%)	4,718 (43.4%)	△ 276 (+1.3%)	△ 5.8%	5,708 (45.1%)	5,229 (47.8%)	+479 (+2.7%)	+9.2%	10,150 (44.9%)	9,947 (45.6%)	+203 (△ 0.7%)	+2.0%
	11	販管費 (対売上高比率)	4,533 (45.6%)	5,032 (46.2%)	△ 499 (△ 0.6%)	△ 9.9%	5,237 (41.4%)	5,030 (46.0%)	+207 (+4.6%)	+4.1%	9,770 (43.2%)	10,062 (46.1%)	△ 292 (△ 2.9%)	△ 2.9%
	12	営業利益 (対売上高比率)	△ 91 (-)	△ 314 (-)	+223	↗	471 (3.7%)	199 (1.8%)	+272 (+1.9%)	+136.7%	380 (1.7%)	△ 115 (-)	+495	↗



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任
を負いませんのでご承知おきください。